

【グレワंकール】実はこのタイトルについての記事を何度も書こうと試みたのですが、今までなかなか筆を執る事が出来ませんでした。なぜなら正体不明だからです。今も自信を持ってグレワंकールを説明できるかと言うと微妙なところなのですが、私が住んでいるドーワ県では特にグレワंकールが有名な地域なので紹介したいと思います。さて、一体なんなのか。結論から言うとグレワंकールは精霊と言われています。人間ではありません（という事になってます）※マラウイ人の証言：「グレワंकールは精霊で普段は川辺で生活をしている。悪い子供をさらって行く。伝統的な踊りを踊る集団。素顔は誰も知らない。言葉は発しない。」と、この様な感じですか。おそらく日本でいう”なまはげ”の様な存在だと思います。しかし、近所のお母さん達は我が子の素行が悪いので真剣に連れ去られることを恐れていますし、グレワंकールの存在は強大で、単なる象徴では無いようです。先日も、選挙関連で現大統領が訪れた際も盛大にパフォーマンスを披露していました。精霊であり、文化であり、伝統でもある。謎のベールに包まれた集団グレワंकール。誰もが真の存在を知りません。今回は、出来る範囲で情報を収集してみました。

渡邊拓人 17-2  
行政サービス  
ドーワ県立病院

とあるイベントにて。  
真剣に怖がっています。



ちなみに彼らのパフォーマンスを見る際にはお金を払わなければなりません。このようなイベントはマラウイ中部を中心に定期的に行われており、お祭りの存在です。この日はイベントの特等席に座らせてもらう事ができグレワंकールを間近で楽しむ事ができました。写真を撮ろうものなら大勢の精霊が集まってきます。その都度、お金を取られます。また、たまに道を歩いている事もありますが、顔はお面や布で隠れ、手には大きなナイフや槍を持っているので、初めて見た時は本当に恐怖を感じました。実際には危害を加える事は無い様ですが、私にとっては近寄りたがたい存在です。このマラウイの伝統が永久に続いてほしいと願います。

【チェワ語講座】どっこいしょ～!!ひと段落して座る時、力を込める時など、様々な場面をついつい口に出してしまう人も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。もちろん辞典には載っていませんが、きっとチェワ語で翻訳すると「エエイヤ～」です。このフレーズをよく耳にします。皆さんも是非使ってみてください。

【後記】マラウイは、再び寒い時期に突入してきました（近頃は朝の最低気温約10℃）。私自身二回目の小乾季（最も寒い時期）。日本はこれから暑くなり、ジメジメする梅雨へと突入しますので羨ましく思う人もいらっしゃるでしょう。ここは自慢させて下さい。さて、6月と言えば日本では祝日がありませんよね。実は、マラウイも6月は祝日がありません。また、日本は比較的に祝日の日数が他国に比べて多いという事はご存知でしたか？これは、仕事人間が多い日本人にとってはとても大切な事だと思いました。



【写真が大好き】携帯のカメラは子供たちにとって絶好の遊び!!「撮って撮って」と、引切り無しです。これは難民キャンプにて子供達と一緒に撮った写真ですが、私はどこに居るのか分かりませんね。そんな子供達にいつも癒してもらっています。